

笠松町公共施設巡回町民バスダイヤ改正案の提起

笠松町公共施設巡回町民バス（以下、バス）は笠松町を 1 時間 1 運行 1 乗車 100 円と分かりやすく、年間 7 万 3 千人、1 日平均 205 人の方に利用していただいております。ですが、停留所の増加や通勤ラッシュなどの交通状況により利用者の多い朝の時間帯の慢性的な遅延など課題が多いのが現状です。

このような慢性的な遅延により次便の始発まで運転手が十分な休憩をとれないことが多々発生している状況です。当町も運転手不足の問題に直面しており、来年度からはいわゆる 2024 年問題への対応策を講じなければならない中、利用者の利便性を保ちつつ、バス運転手の環境を改善するためにもダイヤ改正は急務だと考えております。

ダイヤ改正は現在のバス運行業務委託契約更新時期である令和 7 年 4 月を目標に行いたいと思っております。

本日はダイヤ改正の方向性として、委員の皆さまに 1 時間 1 運行の維持をすべきか否かについて意見を賜りたいと考えております。

バスダイヤ改正のこれまでの経緯

過去10年を振り返ると約5年毎にダイヤの見直しが図られ、そのうえで現状のルートが変わらず採用されています。

○経緯

・平成24年 様々な6案を提案

案		内容
1	一部循環型（田代・円城寺循環）	1時間1運行 空白地帯の解消のため田代・円城寺を循環
2	コミュバス（交互運行）	1時間1運行 病院・スーパー及び空白地帯を通るルート
3	松枝、下羽栗別運行	1時間30分運行 松枝エリア、下羽栗エリアで循環
4	現状を踏襲しバス停を増加した案	1時間30分運行 空白地帯解消のため38→56ヶ所へ停留所増
5	急行バス併用型	現在の朝夕増発便
6	デマンド交通の追加	現在のチョイソコカラタン

・平成30年 スーパーの乗り入れを重点にバス停を大幅に削減する案を提示

案		内容
1	東西横断型1時間1運行	スーパーへの乗り入れ 38→19箇所に停留所を削減
2	東西横断型1時間1運行	38→30箇所に停留所を削減 1の案に比べ停留所の密度を上げた案
3	新たな買い物専用のバスを運行	スーパーと笠松駅をまわる新たなバスを運行